

平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年4月25日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6954 URL <http://www.fanuc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 善治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555
 定時株主総会開催予定日 平成26年6月27日 配当支払開始予定日 平成26年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 平成26年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期の連結業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	450,976	△ 9.5	164,134	△ 11.2	174,360	△ 8.8	110,930	△ 7.9
25年3月期	498,395	△ 7.4	184,821	△ 16.7	191,242	△ 16.3	120,484	△ 13.2

(注) 包括利益 26年3月期 146,267百万円 (△1.6%) 25年3月期 148,687百万円 (12.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	566.86	—	9.7	13.6	36.4
25年3月期	615.59	—	11.6	16.3	37.1

(参考) 持分法投資損益 26年3月期 5,452百万円 25年3月期 2,932百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	1,343,904	1,199,863	88.8	6,102.20
25年3月期	1,219,113	1,094,129	89.3	5,565.64

(参考) 自己資本 26年3月期 1,194,032百万円 25年3月期 1,089,260百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期	125,559	△ 16,468	△ 31,929	823,669
25年3月期	158,848	△ 43,964	△ 39,838	727,751

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年3月期	—	102.64	—	82.04	184.68	36,145	30.0	3.5
26年3月期	—	76.80	—	93.26	170.06	33,278	30.0	2.9
27年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 27年3月期の第2四半期末及び期末の配当金につきましては、開示が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	302,400	39.9	121,000	61.6	127,100	60.6	85,600	70.9	437.47
通期	531,800	17.9	204,200	24.4	216,200	24.0	146,500	32.1	748.70

※ 注記事項

(1)期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2)会計方針の変更・会計処理の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注)詳細は、添付資料14ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期	239,508,317株	25年3月期	239,508,317株
② 期末自己株式数	26年3月期	43,836,033株	25年3月期	43,796,678株
③ 期中平均株式数	26年3月期	195,692,880株	25年3月期	195,720,759株

(参考)個別業績の概要

1. 平成26年3月期の個別業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	324,469	△ 20.3	122,194	△ 24.9	133,428	△ 22.6	86,998	△ 21.8
25年3月期	407,289	△ 12.2	162,621	△ 18.9	172,402	△ 23.3	111,182	△ 21.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期	444.56	—
25年3月期	568.06	—

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	1,118,523	1,025,253	91.7	5,239.64
25年3月期	1,062,070	967,989	91.1	4,946.00

(参考) 自己資本 26年3月期 1,025,253百万円 25年3月期 967,989百万円

※ 監査手続きの実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績予想および将来予想は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。業績予想につきましては、添付資料3ページ「次期(平成26年度)の見通し」をご覧ください。なお、27年3月期の第2四半期末および期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	5
2. 経営方針	6
3. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
(リース取引、有価証券、デリバティブ取引、企業結合等)	16

決算発表補足資料

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 当期（平成25年度）の経営成績

平成25年度の当社グループを取り巻く事業環境につきましては、期前半は、米国市場が好調を維持するなど一部で活発な動きが見られたものの、中国市場の回復が遅れ、また国内・欧州市場で低迷が続くなど、総じて厳しい状況でした。

しかし期後半に入り、円安の効果があらわれ始めたことや、製造業における設備投資が増加傾向となるなど、市場環境が好転し、業績は緩やかな回復基調となりました。

このような中、当社グループではF A・ロボット・ロボマシンの各商品別に3つの事業本部を置き、関連する研究所とセールスを所属させ、これを各事業本部長が一括して指揮する体制を敷きました。これは、それぞれの商品毎の市場において、研究所とセールスがより緊密に連携して顧客ニーズを迅速かつ的確に把握し、それを直ちに商品開発に活かすという当社グループの原点に立ち返るものです。この新組織のもと、研究開発においては高信頼性を基本にした商品の高性能化および知能化をより一層推し進めました。また製造においてはロボット化による生産効率の向上に引き続き取り組みました。これらにより競争力の更なる強化に努めました。

平成25年度の連結売上高は4,509億76百万円（前期比9.5%減）、連結経常利益は1,743億60百万円（前期比8.8%減）、連結純利益は1,109億30百万円（前期比7.9%減）となりました。

部門別の状況は、以下のとおりです。

[F A部門]

CNCシステムの主要顧客である工作機械業界は、国内・海外ともに総じて厳しい状況が続きましたが、期後半になり円安傾向の定着などからようやく需要回復傾向が見られました。厳しい状況が続いていた当社グループにおけるCNCシステムの売上につきましても、これに伴い、期後半には緩やかな回復傾向が見られるようになりました。

レーザにつきましては、国内・海外ともに売上が低調に推移しておりま

したが、期後半には回復の傾向が見られるようになりました。

F A 部門の連結売上高は、2,226 億 43 百万円（前期比 11.3%増）、全連結売上高に対する構成比は 49.4%となりました。

[ロボット部門]

ロボットにつきましては、国内市場では、自動車産業において設備投資の谷間の時期となりましたが、一般産業向けの売上は増加しました。海外市場では、米州向けが好調を維持し、回復が遅れていた欧州向けも期後半になりはつきりとした回復傾向がみられるようになりました。また中国市場の動きも活発でした。

ロボット部門の連結売上高は、1,468 億 66 百万円（前期比 23.3%増）、全連結売上高に対する構成比は 32.6%となりました。

[ロボマシン部門]

ロボドリル（小型マシニングセンタ）につきましては、国内は底堅くまた海外でも堅調に推移したものの、一部 IT 産業からの一時的な需要増があった前年度と比較すると、年間売上は大幅に減少しました。こうした中、当年度の終盤から、再び一部 IT 産業からの急激な需要増により、売上に一時的かつ短期的な増加傾向が現れ始めています。

ロボショット（電動射出成形機）につきましては、国内・海外ともに堅調に推移しました。

ロボカット（ワイヤカット放電加工機）につきましても、国内・海外ともに堅調に推移しました。

ロボナノ（超精密ナノ加工機）につきましては、海外市場開拓のための販売活動を強化し、成果をあげました。

ロボマシン部門の連結売上高は、814 億 67 百万円（前期比 54.5%減）、全連結売上高に対する構成比は 18.0%となりました。

② 次期（平成 26 年度）の見通し

今後につきましては、一部の IT 産業の短期的な需要増等を背景に期前半は好調に推移することが予想されるものの、期後半にはそれら特殊需要の一巡が想定されるほか新興国経済の鈍化が懸念される等、期全体としては不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況に対処するため、当社グループは、F A ・ロボット・ロ

ボマシンの3つの事業本部において、各事業本部長のもとでそれぞれの研究所とセールスの緊密な連携を更に強化してまいります。こうした体制に海外グループ会社も含めたグループ全体が一丸となって顧客ニーズの迅速かつ的確な把握に努めることで、商品開発力を一段と強化し、高信頼性を基本にした商品の高性能化および知能化を促進します。そして製造のロボット化による生産効率向上にも引き続き努めてまいります。これらの地道な努力を続けていくことが、強い企業体質を維持しながらシェアアップと拡販を実現することにつながると考えます。

現時点での平成26年度（平成27年3月期）の連結業績予想は以下のとおりです。

平成27年3月期通期の連結業績予想

	金額（百万円）	前年同期比（％）
売上高	531,800	17.9
営業利益	204,200	24.4
経常利益	216,200	24.0
当期純利益	146,500	32.1

注）平成26年4月1日から平成27年3月31日までの期間における為替レートは、平均100円/ドル、135円/ユーロを想定しております。

(2) 財政状態に関する分析

〔財政状態〕

資産合計は、前年度末比1,247億91百万円増の1兆3,439億4百万円となりました。これは、以下で述べる連結キャッシュ・フローの増加により、現金及び預金が前年度末比959億17百万円増加したことが主な理由です。

また負債合計は、前年度末比190億57百万円増の1,440億41百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比1,057億34百万円増の1兆1,998億63百万円となりました。

〔キャッシュ・フロー〕

当連結会計年度における連結キャッシュ・フローは、以下に述べるキャッシュ・フローの増減に為替換算差額176億33百万円を加算し、前年同期

比 41 億 13 百万円増の 947 億 95 百万円となりました。この結果現金及び現金同等物の当連結会計年度期末残高は 8,236 億 69 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、前年同期比 332 億 89 百万円減の 1,255 億 59 百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、前年同期比 274 億 96 百万円減の 164 億 68 百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は、前年同期比 79 億 9 百万円減の 319 億 29 百万円であり、これは主に配当金の支払が減少したことによるものです。

(3) 利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、企業体質の強化を図り、連結業績に連動した利益還元を将来にわたり実現できるよう努力を続けております。

株主還元につきましては、連結ベースで当期純利益の 30%の配当性向を維持することを基本方針としております。また、株式市場の状況を見て、必要により自己株式取得も行ってまいります。

なお、当社は、厳しい市場競争のなかにあって利益確保のため努力を続ける取締役および社員につきましては、その賞与を配当と同様純利益に連動して支給することを併せて方針としております。

また、内部留保資金につきましては、当社の事業は技術革新が急激でかつ競争が激しい先端分野であることに鑑み、中長期的な視点にたち、新商品の開発、製造のロボット化および海外体制の強化への投資に優先的に活用いたします。

当期の配当金につきましては、以下を予定しております。

	上期配当	下期配当 (予定)	年間配当 (予定)	配当性向
当期(平成 25 年度)	76 円 80 銭	93 円 26 銭	170 円 06 銭	30.0%
(ご参考) 前期(平成 24 年度)	102 円 64 銭	82 円 04 銭	184 円 68 銭	30.0%

2. 経営方針

経営方針につきましては、平成 23 年 3 月期決算短信（平成 23 年 4 月 27 日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため、開示を省略いたします。

当該決算短信は、次の URL からご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

<http://www.fanuc.co.jp/>

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

3. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	727,753	823,670
受取手形及び売掛金	81,318	91,698
商品及び製品	37,053	43,857
仕掛品	27,724	35,559
原材料及び貯蔵品	7,407	8,079
繰延税金資産	19,035	20,706
その他	7,778	6,152
貸倒引当金	△1,628	△1,920
流動資産合計	906,440	1,027,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,264	96,985
機械装置及び運搬具（純額）	26,322	34,834
土地	116,452	117,543
その他（純額）	27,783	13,111
有形固定資産合計	264,821	262,473
無形固定資産		
のれん	8,286	3,689
その他	461	524
無形固定資産合計	8,747	4,213
投資その他の資産		
投資有価証券	31,779	41,744
その他	7,327	7,674
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	39,105	49,417
固定資産合計	312,673	316,103
資産合計	1,219,113	1,343,904

ファナック(株)(6954)平成26年3月期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,044	26,192
未払法人税等	30,637	30,787
アフターサービス引当金	4,937	5,409
その他	35,355	37,061
流動負債合計	92,973	99,449
固定負債		
退職給付引当金	28,172	-
退職給付に係る負債	-	40,456
その他	3,839	4,136
固定負債合計	32,011	44,592
負債合計	124,984	144,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,268	96,270
利益剰余金	1,261,572	1,340,809
自己株式	△311,636	△312,299
株主資本合計	1,115,218	1,193,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,941	5,112
為替換算調整勘定	△28,899	3,138
退職給付に係る調整累計額	-	△8,012
その他の包括利益累計額合計	△25,958	238
少数株主持分	4,869	5,831
純資産合計	1,094,129	1,199,863
負債純資産合計	1,219,113	1,343,904

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	498,395	450,976
売上原価	258,670	227,189
売上総利益	239,725	223,787
販売費及び一般管理費	54,904	59,653
営業利益	184,821	164,134
営業外収益		
受取利息	1,952	2,300
受取配当金	815	1,290
持分法による投資利益	2,932	5,452
雑収入	1,738	2,270
営業外収益合計	7,437	11,312
営業外費用		
投資有価証券売却損	-	150
固定資産除売却損	281	163
売上割引	114	94
寄付金	220	336
雑支出	401	343
営業外費用合計	1,016	1,086
経常利益	191,242	174,360
税金等調整前当期純利益	191,242	174,360
法人税、住民税及び事業税	69,133	62,036
法人税等調整額	1,120	812
法人税等合計	70,253	62,848
少数株主損益調整前当期純利益	120,989	111,512
少数株主利益	505	582
当期純利益	120,484	110,930

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	120,989	111,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	982	2,171
為替換算調整勘定	24,683	26,987
持分法適用会社に対する持分相当額	2,033	5,597
その他の包括利益合計	27,698	34,755
包括利益	148,687	146,267
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	147,644	145,139
少数株主に係る包括利益	1,043	1,128

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	69,014	96,265	1,180,556	△311,394	1,034,441
当期変動額					
剰余金の配当			△39,468		△39,468
当期純利益			120,484		120,484
自己株式の取得				△246	△246
自己株式の処分		3		4	7
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3	81,016	△242	80,777
当期末残高	69,014	96,268	1,261,572	△311,636	1,115,218

	その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,959	△55,077	△53,118	3,999	985,322
当期変動額					
剰余金の配当					△39,468
当期純利益					120,484
自己株式の取得					△246
自己株式の処分					7
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	982	26,178	27,160	870	28,030
当期変動額合計	982	26,178	27,160	870	108,807
当期末残高	2,941	△28,899	△25,958	4,869	1,094,129

ファナック(株)(6954)平成26年3月期決算短信

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	69,014	96,268	1,261,572	△311,636	1,115,218
当期変動額					
剰余金の配当			△31,086		△31,086
当期純利益			110,930		110,930
合併による変動			△607		△607
自己株式の取得				△665	△665
自己株式の処分		2		2	4
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	79,237	△663	78,576
当期末残高	69,014	96,270	1,340,809	△312,299	1,193,794

	その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,941	△28,899	—	△25,958	4,869	1,094,129
当期変動額						
剰余金の配当						△31,086
当期純利益						110,930
合併による変動						△607
自己株式の取得						△665
自己株式の処分						4
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	2,171	32,037	△8,012	26,196	962	27,158
当期変動額合計	2,171	32,037	△8,012	26,196	962	105,734
当期末残高	5,112	3,138	△8,012	238	5,831	1,199,863

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	191,242	174,360
減価償却費	17,867	18,394
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△865	123
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,401	△28,475
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	40,090
受取利息及び受取配当金	△2,767	△3,590
持分法による投資損益 (△は益)	△2,932	△5,452
売上債権の増減額 (△は増加)	20,004	△4,418
たな卸資産の増減額 (△は増加)	19,948	△9,488
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,021	2,159
その他	8,751	△3,189
小計	242,628	180,514
利息及び配当金の受取額	4,495	5,596
法人税等の支払額	△88,735	△61,262
その他	460	711
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,848	125,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,445	△16,623
その他	481	155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,964	△16,468
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△240	△661
配当金の支払額	△39,426	△31,100
その他	△172	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,838	△31,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,636	17,633
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90,682	94,795
現金及び現金同等物の期首残高	637,069	727,751
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	-	1,123
現金及び現金同等物の期末残高	727,751	823,669

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、当連結会計年度末より適用し(ただし、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めを除く。)、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異および未認識過去勤務費用を退職給付に係る負債に計上いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度末において、当該変更に伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しております。

この結果、当連結会計年度末において、退職給付に係る負債が40,456百万円計上されております。また、その他の包括利益累計額が8,012百万円減少しております。

(セグメント情報等)

1 セグメント情報

前連結会計年度(自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日) 及び

当連結会計年度(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日)

当社グループは、ファクトリーオートメーション (F A) の総合的なサプライヤーとして、自動化による生産システムに使用される CNC システムと CNC システムの技術をベースとしたその応用商品の開発、製造、販売を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。

当社グループでは、すべての商品に、CNC、サーボモータが使用されていることから、投資の意思決定は、特定の商品の状況だけではなく、すべての商品の受注・売上、製造の状況により判断しております。

このように、当社グループにおいては投資の意思決定を全体で実施し、事業セグメントは単一であるためセグメント情報の記載を省略しております。

2 関連情報

当連結会計年度(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	F A	ロボット	ロボマシン	合計
外部顧客への売上高	222,643	146,866	81,467	450,976

(2) 地域ごとの情報

◎ 売上高

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	アジア	その他の地域	合計
105,706	103,012	71,981	168,015	2,262	450,976

(注) 売上高は顧客の所在地別を基礎とし、国又は地域別に分類しております。

◎ 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の 90%超であるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載していません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
1株当たり純資産額	5,565.64円	1株当たり純資産額	6,102.20円
1株当たり当期純利益金額	615.59円	1株当たり当期純利益金額	566.86円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
	当期純利益(百万円)	120,484
普通株式に係る当期純利益(百万円)	120,484	110,930
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	195,721	195,693

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引、有価証券、デリバティブ取引、企業結合等)

決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

決算発表補足資料

1 連結業績（平成25年4月～平成26年3月）

- 1) 純利益 1, 109億円（前年比 0.9倍）
- 2) 売上高 4, 510億円（前年比 0.9倍）
- 3) 営業利益 1, 641億円（前年比 0.9倍）
 経常利益 1, 744億円（同 0.9倍） 売上高経常利益率 38.7%
- 4) 部門別売上高
 - FA 2, 226億円（前年比 1.1倍）
 - ロボット 1, 469億円（同 1.2倍）
 - ロボマシン 815億円（同 0.5倍）
- 5) 受注高 4, 842億円（前年比 1.1倍）

2 26年度通期業績予想

- 純利益 1, 465億円（前年同期比 32.1%増）
- 営業利益 2, 042億円（同 24.4%増）
- 経常利益 2, 162億円（同 24.0%増）
- 売上高 5, 318億円（同 17.9%増）

3 連結業績推移（単位 億円）

